

令和元年度 精華高等学校 学校経営計画及び学校評価

1 本校がめざす学校像

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導の充実と共に、基本的な生活習慣の確立、マナーの向上を目指す。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の更なる充実を目指す。
- 5 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

2 中期目標（到達目標として）

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 特進共通コースにおいては、高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上を目指す。落ち着いた雰囲気の中で、授業を受ける体制を作る。いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を身につけさせる。
- 3 特進選抜コースでは、授業の充実はもちろん、放課後・長期休業中の講座を通して大学受験についての必要な学習内容を習得する。大学進学実績の更なる充実を図る。
- 4 IT 総合コースでは、挨拶・礼儀、約束遵守、身だしなみ等、基本的な生活習慣を身につけさせる。また、コースの専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 5 環境福祉コースにおいては、保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での交流を引き続き充実させる。その中で主体的に物事に取り組む姿勢を育む。また、環境問題や社会福祉に対する高い意識を持った生徒を育成し、社会に貢献する力を育む。多様な個性への許容の心を育てる。
- 6 スポーツ健康コースでは、集団行動により、協調性の育成をめざす。また、素直で思いやりのある心を育てる。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。
- 7 特進総合コースは、大学進学に力を入れると共に、多様な進路に対応するため、進路指導を軸としたクラス編成を行い、機能性の高いコースをめざす。専門性の強い学問分野（音楽や栄養、看護など）への進学を実現するための、環境を整える。様々な進路希望を持つ生徒に即した、学習環境を充実させる。指定校推薦頼みになるような、進路指導からの脱却をめざす。
- 8 グローバル化の進展に伴い、短期語学留学の実施などを通して、国際理解教育に取り組む。
- 9 本校強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 10 学校施設・設備の充実、また、トイレの改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。
- 11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。
- 12 教育改革会議において、引き続き本校教育の中身を検討すると共に、2020年度新テスト実施に向けて、本校の取り組みを実現して行く。
- 13 新コース・カリキュラム委員会を立ち上げ、本校のコース制の進化・再編を行い、魅力的なコース制を立ち上げ生徒募集につなげる。コース毎の新カリキュラムを策定する。その中で本校のめざす教育、本校の将来像を示して行く。

【学校教育自己診断の結果と分析】

令和2年度の学校運営自己診断（令和2年2月実施 教職員自己評価アンケートをもとに）

◎ 教育内容

- ・情報教育については、ICT教室（Eルーム）の設置を踏まえ、充実させて行く。Wi-Fi環境の整備と共に、生徒一人一人にタブレットを持たせ、時代の要請に応えられる教育を積極的に推し進めていく。また、携帯電話の校内持ち込み許可に伴い、マナー教育・情報モラル教育を強化する。人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレのリニューアル（洋式化）に伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。食育については、大きな課題である。
- ・生徒の自主的な活動としての生徒会活動については、生徒の要求の吸い上げを更に図っていく。学園祭において、生徒会の活動は充実してきている。今後、この方向を更に推進したい。
- ・読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。部活動の活性化は本校の重要な柱として位置づけている。本年度から吹奏楽部を特別強化クラブとし、新たに強化クラブとして硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部を指定した。学園として、支援する体制を更に強化する。中期的目標として、部活動の盛んな精華高校をめざす。

◎ 生徒指導・支援

- ・本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。さらに期待に応えられるように努力する。ただし、時代の要請に合わせて、見直すべき点は柔軟に見直して行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に答えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、情報発信において保護者の要望が強いことから、充実した情報の発信に努める。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。しかし、保護者の評価は高くない。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

◎ 教員研修・資質向上

- ・教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。長期休業中の教員研修の回数を増やす必要がある。また、専門的な知識はもちろん、一般教養についても、教員各自の自己研鑽を強く求める。

◎ 総合評価

- ・本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という評判は堅持したい。ただし、一部頭髪指導等、厳しすぎるという意見もあることに留意したい。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。進路の情報発信については、保護者からの要望が強いため、更に工夫を重ねたい。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っているが、更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。
- ・建学の精神（教育目標）を、学校関係者に浸透させる努力を重ねて行く。生徒の愛校心は低い状況にあると、教職員は認識している。また、保護者評価において「精華高校の社会における評判は良い」の肯定的評価は約半数である。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行いたい。
- ・情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、国際交流室を中心に引き続き取り組む。教員研修、教員の資質向上についても更に充実させなければならない。
- ・本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校を目指す。また、時代の要請に応えるべく、学校改革、教育改革を思い切って進め、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

学校協議会からの意見（令和元年12月 実施分）

出席者

堺市福田校区自治連合会長、 堺市西陶器校区自治連合会長、 堺市東陶器校区自治連合会長
精華高等学校保護者会会長、 精華高等学校同窓会会長
精華高等学校校長、 精華高等学校教頭（2名）、 精華高等学校事務長
精華高等学校教務部長、 精華高等学校生徒指導部長、 精華高等学校生進路部長
精華高等学校ミドルリーダー（2名）

配付資料 平成30年度学校評価結果報告書、平成30年度学校経営計画および学校評価、保護者対象学校自己評価アンケート結果

➤ 校長挨拶および現状報告

- ・令和元年度から方面が変更し、シンガポール、マレーシアの2方面に分かれてコース別海外宿泊研修を実施、無事終了したことを報告
- ・今年度よりオンライン英会話を英語の授業に導入し、フィリピンのネイティブの講師とE-roomにて練習している。
- ・募集活動に力を入れ、チャレンジ制度を新たに採用。本校で新たな気持ちでクラブにチャレンジする生徒の優遇措置であるが、徐々に浸透している。今後の募集活動のさらなる活性化につなげていきたい。

➤ 校内見学感想

- ・共学以来、活発なイメージが定着している。また、平日頃からの地域との交流に感謝している。
- ・学内の汚れが目立つ。古くてもきれいが理想である。昨今の報道やニュースからすると、一般常識のない若者が増えている。学校として、取り組んでほしい。また、授業に関して一部の生徒が居眠りをしていた。授業を大切にしてほしい。
- ・授業見学では、1年生が一番良かった。全体的に良い雰囲気だと感じた。英語教育にも熱心に取り組んでいる様子が良かった。
- ・想像していたより、集中して授業に取り組んでいた。教員の指導が行き届いていると感じた。卒業後も期待できる。
- ・授業態度が気になる。3年生に緊張感が薄い。学校施設に関しては、トイレ改修工事によって明るい雰囲気になった。

➤ 学内関係者

- ・客観的に見てくださる意見が参考になる。学校としては寝ている生徒への対応が課題であると感じている。また、土曜日の欠席数が多くなってきているので改善していきたい。
- ・大学入試制度が不安定な中、本校としても課題が多い。画一的な指導ではなく、生徒一人ひとりの希望が叶えられるような授業をめざしている。
- ・生徒指導部としては、自転車マナーの向上に力を入れている。昨年度この階にて指摘いただいた危険な場所についても、意識を高めて指導している。

| PLAN (重点目標) | DO (具体的取組み) | CHECK (自己評価) | ACTION (改善のための方針) |
|---|---|---|---|
| <p>1 日々の授業を充実させる。</p> <p>2 高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 落ち着いた雰囲気の中で、授業を受けさせる。 将来を見据えた的確なコース選択をさせる。 特進共通コースにおいて、学び直しを実施する。</p> | <p>教員の授業に対する意識を高める。研究授業を充実させ、授業公開を増やす。授業の着席指導を徹底させる。授業中の巡回を行い、不成立の授業がある場合、教員が教室内に入り改善を行うこともありうる。</p> <p><u>学校自己評価「授業公開状況」「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認しながら評価する。</u></p> <p>入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。昼食時巡回を毎日実施する。</p> <p>One Step Note を毎週月曜日に回収し、きちんと記入されているか確認する。</p> <p>週1回のコース朝礼においては教員輪番で講話を行い、早朝学習(マナトレ)を、週3回実施する。</p> <p>スタディサプリを導入し、学び直しも含め放課後Eルームでの自習を実施する。</p> <p><u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、特進コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p> | <p>公開授業・授業公開は年々増加している。しかし、教員によって授業に対する意識や、取り組みが不十分な場合がある。教員の授業に対する意識を、更に高めて行きたい。生徒の授業評価の実施は、引き続き検討中である。授業中の巡回は行っている。</p> <p>先生方の朝の立ち番、昼食時巡回はしっかり出来ている。コースガイダンスの内容については、例年通り行ったが、コース選択のミスマッチをなくすためには、検討の余地がある。学び直し教材「マナトレ」を採用し、実施した。</p> | <p>教員に、基本的な授業のあり方を学ばせる機会を設ける。また、近い将来、生徒の授業評価を行い、授業の改善につなげたい。</p> <p>朝の立ち番・昼食時巡回・放課後の立ち番についてはしっかりと実施できているので、引き続き実施する。コースガイダンスについては、内容を充実させ、生徒への情報提供を工夫する。新設ICT教室において、特進共通コースにおける学び直しおよび自習のシステムとして、リクルート社のスタディサプリを導入する。</p> |

| PLAN (重点目標) | DO (具体的取組み) | CHECK (自己評価) | ACTION (改善のための方針) |
|--|---|--|--|
| <p>3 中学校までの復習を実施し、苦手科目を克服する。学習の習慣を身に付けさせる。</p> <p>授業と講座を通じて、大学受験に必要な学力を習得させる。</p> <p>大学進学に関する情報を提供すると共に、自ら調べる力を養成する。</p> <p>入試問題を数多く解き、受験に対応出来る実力を身に付けさせる。</p> <p>志望校に合格させる。</p> <p>4 IT 総合コースでは、規律を重んじ、高校生としての自覚を持たせる指導を行う。</p> <p>プレゼンテーションやコミュニケーションの能力を更に向上させる教育を行う。</p> <p>情報モラル教育をしっかりと行う。</p> <p>情報に関する専門性を高め、さらに魅力的なコースにしていく。</p> | <p>放課後・長期休業中の受験講座を充実させる。早朝学習・コース合同テスト・大学見学会・進路講演会・勉強合宿等を実施する。</p> <p>募集対策室・広報を中心に、広報を強化し、特進選抜コース入学生の増加を図る。</p> <p>特進共通コースからの転コースを促すため、生徒の大学進学に対する意識を高めるよう指導する。</p> <p><u>学校自己評価「生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある」、また保護者評価「学校は進路に関する連絡や、情報提供を十分にしている」「学校は進路に関する保護者や生徒の相談に乗っている」等の満足度の結果を確認し、保護者の意見欄を参考にしながら、特選コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u></p> <p>基本的な生活習慣を確立させ、遅刻・欠席をなくす指導をコース全体で取り組む。</p> <p>コンピュータに関する資格取得率 100%をめざす。また、簿記検定にも取り組む。</p> <p>情報モラル教育を強化し、ネット関係のトラブルを未然に防ぐ。</p> <p>プレゼンテーションの方法を学び、コミュニケーション能力を向上させる。</p> <p>情報系の専門学校と連携し、専門的な講座の開講を企画・実施する。</p> <p><u>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価「情報能力育成」「情報モラル指導」、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考に、IT 総合コース長と検討を加え評価する。</u></p> | <p>放課後・長期休業中の進学講座は、充実している。大学見学会・進路講演会・勉強合宿は有意義だった。特進選抜コース入学生は 14 人だったが、もっと増やす方策が必要である。中堅私大の難化により、大学進学実績がはかばかしくなかった。</p> <p>IT 総合コースはコース長並びに 2 年生担任が、問題を起こし年度途中で担任・コース交代を余儀なくされる事態に陥った。予定されていたコース行事をこなすことに精一杯であった。校外研修や宿泊研修において、生徒がプレゼンテーションを行い、プランを練った。</p> | <p>進学講座を充実させるために、必要な人材を確保する。広報を強化すると共に、優遇制度の新設などを行い、特進選抜コースの入学生の増加を図る。大学進学者の特進共通コースからの転コースを促すため、生徒の大学進学に対する意識を高めるよう指導する。</p> <p>昨年度、混乱したコースの教育内容を、軌道に戻し、充実させる。特にコンピュータに関する資格取得率は、上をめざしたい。</p> |

| PLAN (重点目標) | DO (具体的取組み) | CHECK (自己評価) | ACTION (改善のための方針) |
|--|--|---|--|
| <p>5 高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を確立させる。</p> <p>環境福祉コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、やさしく思いやりのある心を育む。</p> <p>また、環境や福祉に対する専門性を高め、更に魅力的なコースにして行く。</p> | <p>遅刻・欠席については実習先との関係があるので、厳しく指導する。</p> <p>コース朝礼において、生徒のプレゼンを実施する。</p> <p>保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での実習・交流を引き続き充実させる。</p> <p>ビオトープ実習や、無農薬野菜の栽培を通して、環境問題に対する高い意識を持った生徒を育成する。</p> <p>介護職員初任者研修を実施する。</p> <p><u>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価『環境教育』の項目、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にして、環境福祉コース長と検討を加え評価する。</u></p> | <p>昨年度に続き環境福祉コースは、やや落ち着きがない。目標にある、基本的な生活習慣の確立が急がれる。コースの専門的な実習や指導内容はよく考え、工夫されているが、生徒の意識の問題で実施に困難が伴う場合がある。幼稚園・こども園ならびに高齢者福祉施設との交流は、評価が高いが、教員の負担が年々増している。</p> | <p>高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を確立させるため、生徒指導を強化する。</p> <p>コースの特性を生かした専門的な実習や指導内容は、引き続き実施する。</p> |
| <p>6 スポーツ健康コースでは、集団行動と協調性の大切さを意識させ、時間厳守を守らせる。</p> <p>コースの特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育む。</p> <p>さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、自らの健康の保持、増進に努める。</p> | <p>遅刻・欠席をできる限り少なくするために、保護者との連携をしっかりと行う。</p> <p>ゴルフ実習や、金剛登山等コース行事を通して心身を鍛え、スポーツの楽しさを学ぶ。</p> <p>コース講演会やテーピング実習を行い、専門的な知識を学ぶ。</p> <p>身体体力測定やマラソン大会などの補助役員を務め、集団に貢献する心を養う。</p> <p><u>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価「健康・食育」、「スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている」、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にして、スポーツ健康コース長と検討を加え評価する。</u></p> | <p>遅刻・欠席を繰り返す生徒が複数存在するが、保護者との連絡はしっかりと行った。しかし保護者と生徒間のコミュニケーションの不足が原因の場合が目立った。集団行動と協調性の大切さを意識させる、指導を行っている。精華学園祭体育の部では、昨年引き続き「集団行動」の実演を行い、好評を博した。ゴルフ実習で、スポーツの楽しさを学ぶことが出来た。コース講演会やテーピング実習を行い、専門的な知識を学ぶことが出来た。身体体力測定では補助役員を務め、集団に貢献した。</p> | <p>クラブ員をはじめ元気な生徒が多いので、集団行動と協調性の大切さを意識させ、時間厳守を守らせることを徹底していきたい。基本的な生活習慣の確立が必要な生徒もいるため、粘り強く指導する必要がある。</p> |

| PLAN (重点目標) | DO (具体的取組み) | CHECK (自己評価) | ACTION (改善のための方針) |
|--|---|--|--|
| <p>7 大学進学に力を入れる。公務員希望や就職希望、専門性の強い学問分野など多様な進路に対応するため、各種検定試験や補習授業の充実を図る。</p> <p>指定校推薦頼みになるような、進路指導からの脱却をめざす。</p> | <p>学習習慣を確立させ、基礎学力を底上げする。また、コース独自の補習により、学習体制を強化する。</p> <p>スタディサプリの活用により、放課後や家庭学習において基礎学力の向上や受験科目の勉強を積極的に促す。</p> <p>漢字検定や英語検定などの資格取得を積極的にめざす。</p> <p>新聞コラムや漢字、一般常識などを朝学において学ぶ。</p> <p>大学進学実績の向上と共に、専門学校や公務員・就職などの多様な希望進路を実現させる。</p> <p><u>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にして、特進総合コース長と検討を加え評価する。</u></p> | <p>定員の厳格化により、中堅私大の志願者が大幅に増加しており、本校から受験者数の多い大学の倍率も跳ね上がり、大学合格実績は非常に厳しい状況になった。大学受験進学講座の参加人数が極端に少なかった。抜本的な見直しが必要である。2年生の検定合格率が低くなった。学習習慣の定着はまだまだ不十分である。AO入試や指定校推薦入試で大学を決める生徒が、大多数である。また、専門学校への進学者が昨年に引き続き多い。</p> | <p>大学進学に力を入れるためには、公募制推薦入試や一般入試へのチャレンジを見据えた指導を充実させる必要がある。また、進学講座の抜本的な見直しも必要である。公務員や医療系専門学校など多様な進路に応えるための方策を打ち出す必要がある。</p> |
| <p>8 国際理解教育に取り組む。</p> | <p>個人参加型の語学研修を実施し、成功させる。その際、事前指導・事後指導をしっかりと行う。</p> <p>大阪府グローバルリーダー育成・留学促進事業に参加する。</p> <p>海外の学校との姉妹提携を模索し、交換留学生の制度を確立する。</p> <p>オンライン英会話の実施に伴い、その内容を英語科と共に充実させる。</p> <p><u>学校自己評価における、「国際理解」の項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u></p> | <p>個人参加型の語学研修を計画したが、参加人数が極端に少ないため実施に至らなかった。現在、海外の学校との姉妹提携を模索している。</p> | <p>引き続き、個人参加型の語学研修を実施する。その際、事前指導・事後指導をしっかりと行い、語学の習得と国際理解の深化を目指す。1年生において、オンライン英語の授業を実施する。海外の学校との姉妹提携を、引き続き模索する。</p> |

| PLAN (重点目標) | DO (具体的取組み) | CHECK (自己評価) | ACTION (改善のための方針) |
|---|--|--|--|
| <p>9 強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。</p> | <p>部活動推薦生徒(専願)の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を行い、広報活動を更に強化する。</p> <p>オープンスクールの参加人数を増やし、部活動推薦生徒の入学生増加を図る。</p> <p>吹奏楽部・インターアクトクラブ・演劇部等を中心に、地域社会に貢献する。</p> <p><u>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u></p> | <p>部活動顧問手当を拡充した。また、部活動推薦生徒(専願)の本校入学者数を増やすため、教頭を中心に広報活動を強化した。オープンスクールの参加人数を増やした。吹奏楽部・インターアクトクラブ・演劇部等を中心に、地域社会に貢献している。しかし、部活動の活性化は、まだまだ道半ばである。</p> | <p>部活動推薦生徒(専願)の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を行う。広報活動を更に強化する。オープンスクールの内容を工夫し、充実させる。女子ダンス部を立ち上げる。</p> |
| <p>10 トイレの改修・洋式化に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。</p> | <p>昨年に引き続き、新館3階の男子生徒トイレを改装し洋式化する。</p> <p>講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。</p> <p><u>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」「学校内は、清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u></p> | <p>校舎外壁工事は全て完了した。また、西館2階の生徒トイレの洋式化も完了した。生徒の美化意識の向上については、まだまだ不足している。</p> | <p>来年度は引き続き、新館生徒トイレの洋式化を進める。生徒の美化意識の向上のための方策を打ち出す。</p> |
| <p>11 学校広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図る。</p> | <p>学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。ホームページを見直し、情報発信を更に充実させる。</p> <p>本校の斬新な広報を継続する。</p> <p><u>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率70%以上をめざす。</u></p> | <p>広報に携わる教員の急な退職等により、広報の仕事が滞った。広報のイメージ統一は道半ばである。本校の斬新な広報は継続出来ている。オープンスクールは多くの中学生の参加を見たが、更に工夫を重ね、強化して行く。</p> | <p>広報の職務範囲を明確にし、学校広報の強化とイメージの統一を更に進める。広報室とし、室長を置き部員の増員を図る。</p> |

| PLAN（重点目標） | DO（具体的取組み） | CHECK（自己評価） | ACTION（改善のための方針） |
|---|---|---|--|
| <p>12 教育改革会議において、引き続き 2020 年度の新テスト実施に向けて検討を重ねる。また、アクティブラーニングの推進、Eルーム（ICT 教室）の活用を通じて、本校の教育内容を充実させる。近い将来には Wi-Fi 環境を全教室に整備し、タブレットの導入を進める。</p> <p>13 新コース・カリキュラム委員会を立ち上げ、魅力的なコース制のあり方を検討し策定する。各コースの新カリキュラムを策定する。本校のめざす教育、本校の将来像を示して行く。</p> | <p>カリキュラム改変についても、教育改革会議を中心に新組織において推進していく。</p> <p>アクティブラーニング推進については、引き続き教頭を中心に各教科若手教員を組織し研究して行く。</p> <p>Eルーム（ICT 教室）の活用を進める。</p> <p><u>学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。</u></p> <p>コース制の進化・再編を行う。</p> <p>新コース・カリキュラム検討委員会を立ち上げ、カリキュラム改変についても、この委員会において推進していく。</p> <p><u>学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。</u></p> | <p>ICT 教室（E ルーム）を新設し、アクティブラーニングの授業を行っている。また、この教室で1年生全員が、フィリピンのセブと結びオンライン英会話の授業を始めている。</p> <p>2020 年新テスト実施に向け、ワン・ステップ・ノートを生徒全員に持たせ、スケジュール管理や、高校生活や成績の記録などを行っている。</p> | <p>新カリキュラムの策定に先だって、「新コース・カリキュラム検討委員会」を立ち上げ、本校の 100 周年（令和 8 年度）に向けて学校改革を推進する。</p> |